

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3371回例会 (令和4年12月7日・水)

### 今週のプログラム

12月7日(水) 会員スピーチ

「がん検診のススメ」

日本生命保険(相)松江支社長 かのひでお 菅野秀生氏

### 次週のプログラム

12月14日(水) 名誉会員スピーチ

「積小為大と臨機応変」

島根県知事 まるやまたつや 丸山達也氏(名誉会員)

### 2022年12月の予定(★衛星クラブ含む)

- 12月7日(水) 定例理事会  
★12月14日(水) 衛星クラブ単独例会 13:35~16:30  
(株)NTTドコモ中国支社島根支店  
13:30 ホテル一畑→ドコモ島根支店会議室→災害対策用車両見学  
→携帯電話基地局見学(大根島大塚山公園)→16:30ホテル一畑着予定  
12月21日(水) 例会兼家族忘年会  
例会 18:30~  
忘年会 例会終了後~20:50(予定)  
(昼の例会はありません)  
※12月28日(水) 休会

### 誕生月

福田 正明会員 22日 山尾 義己会員 28日  
舟越 隆明会員 29日

### 出席100%賞

後藤 勇会員 14年 高梨 泰至会員 3年

### ●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
12月13日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
12月15日(木)	松江 東	ホテル一畑
12月19日(月)	松江 南	松江エクセルホテル東急
12月20日(火)	松江しんじ湖	※ホテル一畑(予定)
12月22日(木)	松江 東	ホテル一畑
12月26日(月)	松江 南	松江エクセルホテル東急
12月27日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
12月29日(木)	松江 東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もございますので事前に事務局へ確認願います。

## 第3370回例会記録

令和4年11月16日(水・晴れ)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	64	45 (リアル 40 オンライン 5)	19	76.28	87.93
衛星クラブ	10	2 (リアル 0 オンライン 2)	8	20.00	-

メーカー：大野(岡山)、伊原、山崎、渡辺(松江南)、菅野(松江しんじ湖)、木村(理事会)

## 会務報告

### 佐藤会長

- 本日は職場訪問例会  
天野職業奉仕委員長のお世話で中国電力俣野川水力発電所 視察
- 衛星クラブから2名出席  
上田まり子会員、片寄洋子会員

### 田中幹事

- 先ほど会長からお話があったように職場訪問例会です。  
食事を済ませて貸切バスでホテル一畑を13時出発17時30分ホテル一畑着予定です。
- 次週11月23日(水)は祝日の為、例会なし

11月30日(水)は休会  
次回例会は12月7日(水) 通常例会です。

## 委員会報告

- 親睦・出席委員会 高梨委員長  
出席報告  
家族忘年会のご案内  
12月21日(水) 例会時間を変更し開催

## プログラム

「職場訪問例会」

職業奉仕委員会  
中国電力俣野川水力発電所 視察

佐藤（本日の職場訪問例会 天野支社長様お世話になります。）  
 信太（午後の診察が午後3時からのため、職場訪問に行けません。すみません。）

日光（誕生日）  
 庄谷（結婚月）

ベストメッセージ賞：該当者なし  
 司会 山尾義己会場監督

## 「職場訪問例会」 中国電力俣野川水力発電所 視察

11月16日（水） 13時～17時15分



ひとこと  
 随想

中村元記念館のこれから 10周年を迎えて



谷口 博 則  
 (中村元記念館東洋思想文化研究所 副理事長)

早いもので、大根島に中村元記念館が開館してから10年が経ちました。この10年間で、私なりに「印象的」「想定外」な出来事を列挙してみます。

- ・知名度の低かった「中村元」という名前を、今では多くの方に認知していただいた。図書館や書店では、ほとんど置いてなかった博士の書籍が増加した。
- ・全国の個人や寺院等から寄付を継続的にいただいていること。
- ・歴代の在日インド大使、およびインド総領事が就任されるたびに記念館を訪れていただいていること。
- ・山陰インド協会が設立され、インドと当圏域の経済交流が始まった。
- ・山陰中央新報での連載「慈しみの心」が長期間続いていること。
- ・インド哲学・仏教学を専門とする先生方がほぼボランティアで協力していただけること。また、書籍の整理ボランティアの方が長期にわたって協力していただいていること。
- ・記念館の最初のインド旅行で、「ベナレス・ヒンディー大学」哲学科を訪問し大歓迎を受けたこと。

- ・ガンジス川に昇る朝日と敬虔な沐浴、夜の喧騒。
- ・靈鷲山およびブッダガヤの菩提樹の下で唱えた般若心経。

他にもいろいろありますが、思いつくままに挙げてみました。

中村元が生まれたのは1912年（大正元年）ですから今年で生誕110周年でもあります。その50年前の1862年には森鷗外が津和野町で生まれています。そして中村元記念館がリニューアルオープンした今年、新しい森鷗外記念館も東京・文京区に開館しました。島根県出身の二人の知の巨人。その記念館が、いずれも今年再オープンしたことになります。

10年を迎えた記念館のこれからの課題は、整理と登録を進めている博士の膨大な蔵書をどう活用していくかです。蔵書を見た東京大学インド哲学・仏教学の先生によると、おそらく記念館にしかない貴重な書籍がいくつもある。書籍に書き込まれたメモ類も貴重で研究対象として興味深い、と言っておられました。

富山大学には「ヘルン研究会」があり、ラフカディオ・ハーンの前蔵書二千数百冊の「ヘルン文庫」を研究資源として、科研費なども活用しながら新しい時代のラフカディオ・ハーン研究を推進しています。中村元記念館も次のフェーズを目指し、その役割を果たしていかなければと思っています。多くの方のご理解とご支援をいただきながら。

(印刷)